

乗岳(12:15)

## 風来沢本流

1984年8月25日

L1

林道の終点まで車で入り、砂防ダムの先から遊歩開始。7:00。

しばらくは平凡な河原が続く。やたらと支流が多い。しかし、ガレ沢が殆ど。途中、岩魚を見つけ、つかまえようとしたが、岩の下に逃げられてしまった。

1時間近く河原を歩いたところで、瀧をもった一枚岩の青銅色のナメとなる。明らかに沢の様相が変わる。いよいよ瀧がでてくるかと思ったら、更に1時間、ゴーロだらけの河原歩き。

出発してから2時間余りでようやくF<sub>1</sub> 4 m。このあとすぐ二俣で、水量比は4:1で右俣が多い。右俣に入る。

この上も登りがいのある瀧は、10mのF<sub>2</sub>くらいなもので、小瀧ばかりである。

水が切れた所で遊歩をやめ、昼食。前方の岩場にカモシカを見つけた。私達が下降を始めるまで、殆ど動かず、高見の見物をきめこんでいた。

カモシカと岩魚を見たのが唯一の救いだけの、つまらない沢であった。

(記)

[タイム] 風来沢出合(7:30)→二俣(9:15)→遊歩終了(11:30)

